

公表

事業所における自己評価総括表【放課後等デイサービス】

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」小倉北校			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 24日 ~ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 11月 17日 ~ 2025年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・不登校児の支援やを提供している	<ul style="list-style-type: none"> ・進学や環境の変化によって登校が難しくなった利用児に対して、午前中の来所を促し、それぞれに合った学習時間や小集団活動、余暇時間を提供を行っています。 ・上記の支援や活動を通じて、日中の居場所の提供および、習慣を形成することで、来所後の登校支援などを提案しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ時間帯に利用されている他児同士での小集団活動や、やり取りの充足を図る。 ・同じ時間帯に来所される他児同士のり会や、交友の場を提供できるように環境を整える。
2	・利用者同士が互いに理解し合い良好な関係性を構築することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ曜日や時間帯に来所される他児同士が活動できるように、職員から小集団活動（トランプやウノなどのカードゲーム、すごろくなどのボードゲーム）を提案することで、利用者同士で活動する時間を提供しています。 ・職員が利用児同士の仲介をしたり、関わる方のモデルを示すことで、相手への理解を促しています。 ・互いへの配慮や思いやりが見られた際には、賞賛や感謝の気持ちを伝えて、安心感や自己肯定感を得られるように接しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の見通しや役割を事前に共有し、安心して小集団活動に参加できる環境を整えていきます。 ・職員が仲介や関わる方のモデルを示しながら、利用者同士の相互理解を深めます。 ・活動後の振り返りや具体的な賞賛を通して、思いやりや配慮のある関わりを定着させていきます ・固定した関係性を基盤にしつつ、継続的に人間関係の幅を広げられるよう支援していきます。
3	・職員の年齢、性別のバランスが良い	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員も充足しており、利用者に年齢が近い分、互いに打ち解けるのも早く関係性を作りやすい。 ・非常勤含め、子育て経験が豊富なベテラン職員も数名いることで、保護者からの相談にも対応できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者によって打ち解けやすい職員が異なるので、今後も職員同士情報共有を図り、利用児との関係性の構築を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・育児相談ができる職員の少なさ。	<ul style="list-style-type: none"> ・若手職員が多い (若手職員が多くを占めることもあり、事業所での関わり方や支援での工夫を伝えることはできるが、生育面などでのアドバイスがしにくい。管理者等一部の職員が相談や助言を行っている。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・育児などのへの知識の収集や今後の支援の中での経験を積んでいく。 ・保護者からの相談や質問に対して事業所全体で考えていくという体制を作る。 ・面談やお迎えなどの場でのコミュニケーションを通じて関係性の構築を行っていく。
2	・多機能型事業所のため利用児の年齢が幅広い	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階、興味関心の差が大きく支援目標が多様化しやすい ・小集団の活動の設定が難しく、同時時間帯で複数の発達段階への対応が必要となり支援の質にばらつきが生じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢、発達段階に応じた小集団を編成し支援を行う ・段階別のプログラムを設定する ・役割分担による年齢差を活用し、年下児の安心感、年上児の自己肯定感の両立を図り強みに変換していく ・年齢や発達状況の違いがあっても一緒に取り組めるプログラムを設定し、活動内容を視覚化して時間を決めて取り組む

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果【放課後等デイサービス】

事業所名		こどもサポート教室「きらり」小倉北校						
		公表日 2026年2月15日 利用児童数 24 12/10/2026 回収数 17						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	1	0	お部屋がいくつかあるため子供の状況に応じて使い分けられる。	法令を遵守したスペースを確保しており、お子様が安全に活動できるスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2	0	0		法定の人員に加え、2名の指導員を加配し、必要に応じて非常勤職員の増員も行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	4	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	2	0	0		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	2	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	5		
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2	0	0		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	16	0	1	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	1	0		

の説明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	0	1		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1	0	0		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	1	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	0		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	1	1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	1	1		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	1	1		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	0	実際に怪我をしたことがないので分かりません	・事故（けがなど）が発生した際の対応手順を定期的に職員間で確認し、迅速な対応ができるようにしています
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	16	1	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	支援員の方と話をするのをとても楽しみにしているようです。話題などいろいろ配慮してくださっているようで非常に感謝しています	いつもありがとうございます。大切なお子様をお預かりする、安心安全な環境を提供し、療育の質の向上を目指してまいります
	29 事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	・高校生になつても通いたいと言つてゐるので、少なくともうちの子にとっては、居心地の良い環境が作られているのだと思っています ・いつも放課後等デイサービスの後、学校に送つていってもらつているのですが、直接学校に行く日は朝から何度も不安を口にするので、放デイが大きな助けになつてゐるのだと感じています ・先生が皆さん、とても優しくて子供が楽しみに通つています！個別支援計画に合わせて支援をしていただいています。その日の様子を教えていただけたり、定期的に面談もしてくださり、子どもの様子がとてもよくわかり、ありがとうございます	ありがとうございます。 これからも引き続き、お子様、保護者の皆様に寄り添い、愛され必要とされる教室となるよう運営してまいります

公表

事業所における自己評価結果【放課後等デイサービス】

事業所名	こどもサポート教室「きらり」小倉北校			公表日 2026年2月15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		一人当たり3m²以上のスペースを確保しています。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			活動内容や、児童の人数によって、適切な人員配置を行っています
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	・療育スペースが複数の広さの部屋で仕切られており、用途によって使い分けができます 必要に応じて、パーテーションで仕切るなどの工夫も行っています	事業所入口が2階部分にあり、階段のため車いすやストレッチャーに対応できません
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・こまめに清掃を行っています ・子どもの活動の用途に合わせて複数の空間を小集団や個別のスペースなどの使い分けしています	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		一人で活動したり集中して学習に取り組みたい利用児には、個室を準備しています	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・常勤職員を対象に目標設定とその振り返りを行う人事考課を実施。半期に1度業務の振り返りを行っています。 ・定期的に職員の個別面談を行い、目標設定と振り返りを行っています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一度保護者アンケートを実施。改善につなげています	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		職員が意見を言いやすい雰囲気づくりをおこなっています	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的に事業所外の者から内部監査を受けており、その結果を事業所内で共有し改善点を周知したうえで改善をおこなっています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月に一度支援に関する職員研修を行っています。 ・事例検討会や初任者研修など、社内研修の仕組みが構築されています ・法廷研修、教材図書などの委員会を設置しリモートでの研修制度も充実しています	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		一人一人に適切な支援計画を立て、支援プログラムを実施しています	・支援プログラム公表をおこなっています
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		フェイスシート、アセスメントシートを活用しニーズの探し出しを行い、利用児の状況と保護者のニーズを踏まえた計画を作成しています	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		モニタリング会議の際にニーズに合わせた活動プログラムとなるよう職員間で話し合い、意見を取り入れて計画を作成しています	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		利用児の情報、個別支援計画等をいつでも閲覧できるようにしています	

適切な支援の提供	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		全利用児へ統一したアセスメントを実施しています	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った支援を提供しています	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		指導員全体の意見を取り入れつつ、プログラムの立案を行っています	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		少なくとも6ヶ月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用児に合わせたプログラムとなるよう工夫しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別と小集団の支援を織り交ぜて個人個人の状況に合わせた支援を行っている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		毎朝朝礼を行い、当日の支援について確認を行っている	送迎業務等で全体周知できない場合は、パソコン内業務システムの事業所スペースを活用し共有を行っています
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		毎日終礼を行い、その日の支援について振り返りを行い、情報共有を行っている	送迎業務等で全体周知できない場合は、パソコン内業務システムの事業所スペースを活用し共有を行っています
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		支援記録は当日中に記入し、モニタリングの資料として活用しています	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		少なくとも6ヶ月に1度モニタリングを実施しています	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに沿った支援を提供しています	
関係機関や保育	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		利用児に選択肢を与えるなど、その日の支援プログラムを本人に決めていただくなど工夫を行っている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		担当児童指導員が参加できるように調整し、子どもの状況を深く理解した職員が参加しています	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		持病等について情報を収集したり、関係機関、医療機関との連携を行い支援をしている	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		月間利用予定表の配布、新規利用児の情報共有など適切に実施し、送迎時の情報共有や、担当者会議を通して、支援の方針性の確認や役割分担について確認、情報共有を行っています	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		・担当者会議を実施し情報共有を行い相互理解の機会を設けています。また、送迎の際に情報交換し、統一した支援の実施に努めています。 ・保護者を介した情報共有を行っています。	
関係機関や保育	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	<input type="radio"/>		相談支援員を通じて情報共有を行っています	

護者との連携	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>	・保護者を通じてお話を聞きし、受診同行も適宜行っています。 ・専門機関の医師などに状況報告書や意見伺い書等をお渡して、支援についての情報共有を行っています	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>	現在、事業所としてはそのような機会を設けていません	
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>	北九州市にこども部会がないため参加できていません	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		<input type="radio"/>	送迎時やモニタリング説明時に共通認識を確認しています。 また、連絡帳、SNS(LINE)等で情報交換を行い、支援の様子や課題などについて報告連絡を行い、相互理解を図っています	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	2025/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を行いました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		<input type="radio"/>	契約時に書面と口頭で説明を行っています 質問や問い合わせがあった際にも、丁寧なご説明と対応を心掛けています	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		<input type="radio"/>	連絡帳、SNS(LINE)、連絡帳等で意思疎通を図りやすい環境を整えています。また、ご要望に沿って面談の機会を儲け、対面での相談の機会を設けています	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		<input type="radio"/>	契約時の面談の際に、書面と口頭で丁寧かつ分かりやすい説明を心掛け、同意を得ています	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		<input type="radio"/>	適宜、行っています。より、相談しやすい環境づくりのために、家族支援なども行っています	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>	2025/11/23に保護者会にて、「親子ワークショップ」を行いました。ワークショップ後は職員と保護者の交流、保護者同士のピアサポートを実施しました	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		<input type="radio"/>	管理者が苦情受付責任者となり、事故やトラブルの際には迅速な対応を行っています	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		<input type="radio"/>	事業所のブログや公式LINEを使用して活動の様子を保護者へ発信しています	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		<input type="radio"/>	鍵付きキャビネットに個人情報ファイル等を保管し、退勤時にはパソコンも鍵付きキャビネットに収納しています	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		<input type="radio"/>	口頭のみでなく、書面やLINEにすることで、情報伝達の配慮を行っています	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	現在は、そのような機会は儲けていませんが、今後は検討していきます	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		<input type="radio"/>	毎月防災訓練を実施しています。ブログや、LINEの一斉送信、次月の利用予定表などで実施日のお知らせをしています	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		<input type="radio"/>	年間計画を立て、月に1度防災訓練を実施しています。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		利用児の個別ファイルに書面情報を保管し、職員間で周知、共有しています	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		食物アレルギーがある場合は、アレルギー指示書へ記入してもらい、職員間での周知を行っています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		毎月の防災訓練、定期研修に参加し、安全管理に関する意識向上を図り全職員でフィードバックを行っています	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明を行っています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		作成、共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		入社時研修、毎月の虐待防止委員会研修、行政の研修で虐待防止に関する意識向上を図り全職員でフィードバックを行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		重要事項説明書に身体拘束についての事項を明記し、必要に応じて個別支援計画への記載を行っています	